

グリーンスローモビリティの実証実験について

第2回杉並区地域公共交通活性化協議会

令和4年7月13日
都市整備部交通施策担当

昨年度、区の行政計画でグリスロを位置付け

総合計画・実行計画（R4.1策定）

R6.12 荻外荘開園を見据えて

【まちづくり・地域産業】分野

多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち

➤ 浜田山駅南口の整備に着手 45,785千円
多心型まちづくりの推進 (p.118)

～浜田山駅南口の地下連絡通路の設計～

➤ バリアフリー化の推進に向けた
区内鉄道駅ホームドアの設置支援 4,333千円
ユニバーサルデザインのまちづくり推進 (p.120)

➤ 環境にやさしい、利便性の高い移動手段へ
(次世代型交通まちづくりの推進) 11,583千円
新たな地域交通の整備 (p.119)

～「杉並区地域公共交通計画」の策定～

～グリーンスローモビリティなど次世代型交通の導入に向けた
 意識醸成と実証実験～

① 次世代型交通まちづくりの推進 **重点**

「地域公共交通計画」を策定し、高齢者や障害者をはじめとして、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けた取組を推進します。また、MaaS（マース）等の新技術を活用したサービスの調査・研究を行うとともに、シェアサイクルやグリーンスローモビリティ^{※1}を導入します。

関連区と協力して、環状八号線を基本ルートとする区部周辺部環状鉄道（エイトライナー）^{※2}の早期実現を目指します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
地域公共交通計画 検討	地域公共交通計画 策定	地域公共交通計画 運用	地域公共交通計画 運用	地域公共交通計画 運用	地域公共交通計画 策定・運用
MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究
シェアサイクル 事業化検討	シェアサイクル 実証実験	シェアサイクル 実施	シェアサイクル 実施	シェアサイクル 実施	シェアサイクル 実証実験・実施
グリーンスローモビ リティ 実証実験	グリーンスローモビ リティ 実証実験	グリーンスローモビ リティ 実証実験	グリーンスローモビ リティ 実施	グリーンスローモビ リティ 実証実験・実施	グリーンスローモビ リティ 実証実験・実施
エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整
経費(百万円)		7	1	1	9

※1 グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。
 ※2 エイトライナー：環状八号線を基本的な導入空間として、赤羽から田圃調布までの約31kmを結ぶ新しい環状鉄道

区政経営計画書(今年度の当初予算)

区費で、400万円を計上

昨年度の試乗会の概要（R4.3実施済み）

日時	内容
令和4年3月24日（金） 10時～16時	関係者向け試乗会
令和4年3月25日（土） 10時～16時	一般向け試乗会

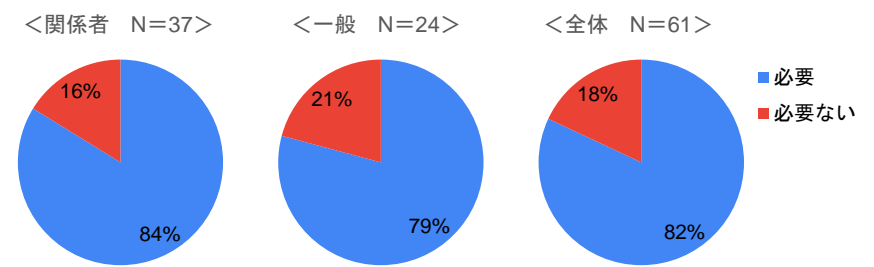


上段：電動車いす
下段：グリーンスローモビリティ



試乗会参加者アンケート

① 日常的にこの乗り物（モビリティ）は必要だと思いますか？



MaaS創出に向けた区の最近の取り組み

今年5月、経済産業省の「地域新MaaS創出推進事業」に応募

4. 概要【杉並版MaaS実装プロジェクトチーム：(株)建設技術研究所】

4



今月中旬以降に
結果発表を予定

■ 事業のセールスポイント

・住宅都市部である「杉並区」において、日常生活や観光シーンの両面から、新たなモビリティサービスとこれまで活用実績のない観光・商業サービス・デジタルコンテンツをMaaSとして連携することによって、付加価値創出や収益性向上を図るビジネスモデルを構築する。



■ 関連事業全体の概要

- MaaSアプリをプラットフォームとした移動サービス(新モビリティ、既存モビリティ)や観光・商業サービス・コンテンツ等の連携(すぎなみMaaS)
- 「(仮称)荻外荘公園(R6年開園予定)」等の三庭園を中心とした荻窪地域を核とし、京王井の頭線沿線地域を含めた広域な周辺地域において実施し、地元事業者が主体となった移動サービス・観光・商業サービスの提供、エリアマネジメント、ビジネスモデルを構築・検証

■ 対象区域の概要

東京都杉並区
[面積] 3,406ha
[人口](昼間) 479,975人
(夜間) 563,997人
出典: 東京都「平成27年国勢調査による東京都の昼間人口」

■ 対象区域のビジョン

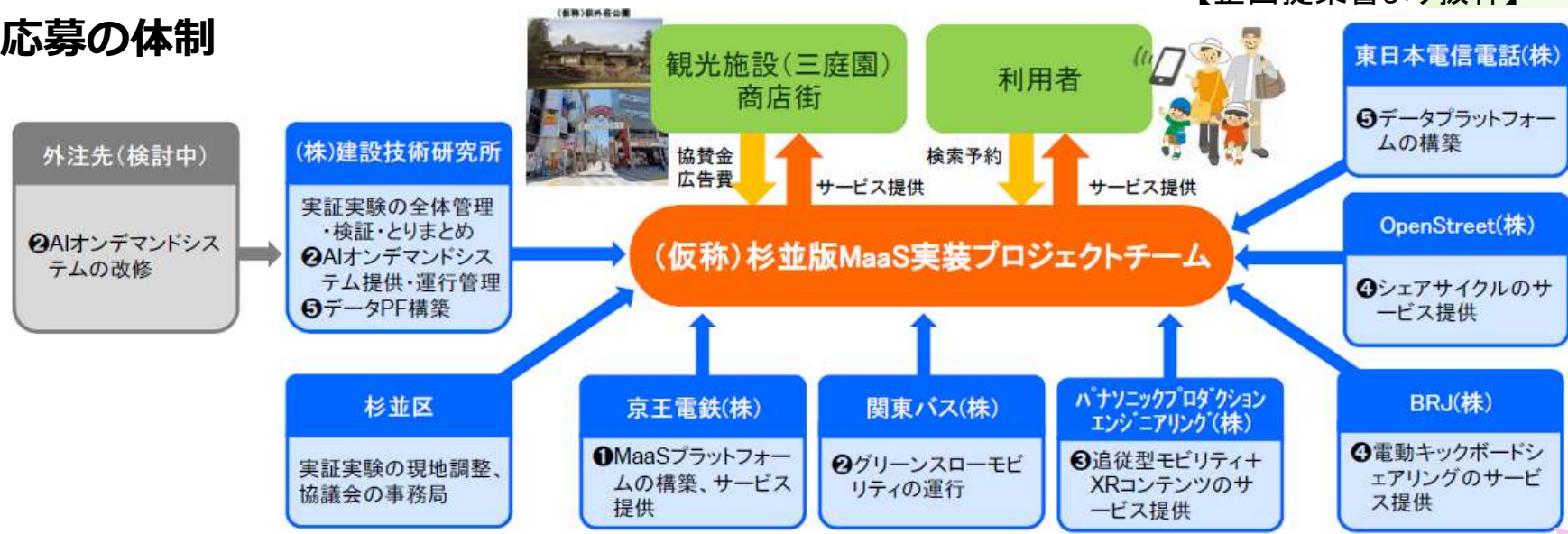
高齢者や障害者をはじめとして、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けて、MaaS等の新技術を活用したモビリティサービスによる次世代型交通まちづくりを推進

出典: 杉並区総合計画(2022~2030)

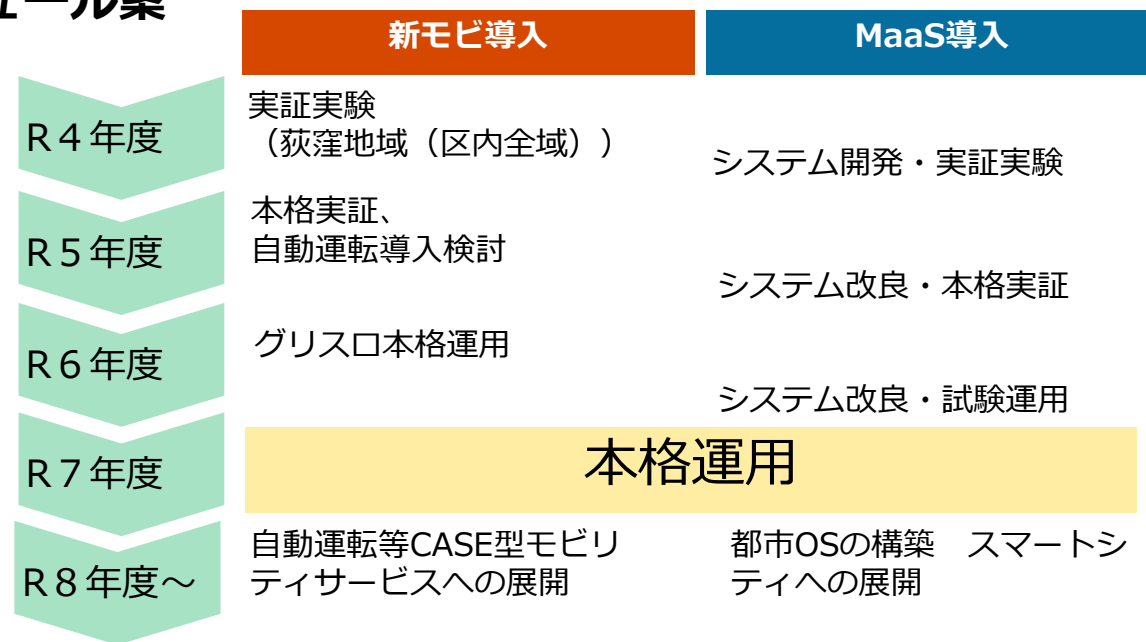


【企画提案書より抜粋】

応募の体制



中長期スケジュール案



これまでに活用実績のない観光・商業・デジタルコンテンツの融合

今年度の実証実験の概要 (R4.11実施予定)

●実験期間が変わります。

R4.3試乗会 2日間 3月24日(金) 25日(土)

R4.11実証実験 2週間 11月(予定)

●車両タイプが変わります。

R4.3試乗会 4人乗り1台

R4.11実証実験 7人乗り1台

●走行ルートが変わります。

R4.3試乗会 荻外荘公園～荻窪地域区民センター
～大田黒公園～荻外荘公園 約1.5km

R4.11実証実験 荻窪駅～大田黒公園～荻外荘公園
～荻窪駅(予定) 約2.7km



軽自動車	小型自動車	普通自動車
 <p>4人乗り</p>	 <p>7人乗り</p>	 <p>10人乗り</p>
 <p>4人乗り</p>	<p>特殊用途車両 (8ナンバー)</p>  <p>7人乗りタイプ</p>	 <p>車椅子リフト可 10人乗り</p>
		 <p>車椅子リフト可 16人乗り</p> <p><small>※16人乗り車両の運行にあたっては、中型自動車免許が必要になります</small></p>

経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」に採択された場合には、対象を荻窪地域から広範な地域に、加えてMaaS連携（情報提供、地域クーポン等）も実施予定。